

兵庫県医師会会報

○中・西播磨医療圏医師会と兵庫県医師会との懇談会

平成 22 年 12 月・平成 23 年 1 月合併号(通巻 686 号)：会議レポート

中・西播磨医療圏医師会役員と兵庫県医師会役員との懇談会が H22 年 10 月 28 日に姫路商工会議所にて開催されました。

挨拶

・川島兵庫県医師会長挨拶

ご挨拶の後に、日医の情勢について話されました。

数日前の日医代議員会で原中会長から提案がありました。一つは日医の今後の会長選挙を直接選挙にしたいということであり、もう一つはすべての医師は医師会に入らなければならない、そうでなければ保険医として認められないという仕組みにしていきたいということです。あくまでも私案の段階ではありますが、注目すべきことです。

医師会が公益法人でなくなると、母体保護法の指定ができなくなる問題、今後の高齢者医療制度のことも日医での協議を続けています。もう一つ我々にとっての問題は医療の産業化、特に医療ツーリズムのことで、外国富裕層のためだけの医療、混合診療、株式会社の医療への参入、国民皆保険制度の崩壊、などにつながってまいります。

・石川姫路市医師会長挨拶

地元医師会を代表してご挨拶されました。

2 年前にも開催されましたが、その後出席者が大幅に変わっており、お互いに懇親を深めたいものです。2 年前はリーマンショックの最中で、医療の現場におきましても危機がありましたが、その後徐々に回復してきたようです。昨年はインフルエンザが大流行しました。世界の中で日本の医療は優秀であったと評価されていますが、いろいろの問題があったことも事実です。その他に、医療消費税のこと、医療特区の問題があります。日本でもすでに医療ツーリズムが開始されてしまっています。医療ツーリズムがよくないということを広く国民に理解していただく必要があります。

協議懇談事項

(1)災害時相互支援システム締結に向けて(川島県医会長)

阪神大震災の経験をふまえての提案です。災害時には急性期の治療も必要ですが、慢性期の治療についても大切となってきます。3～4 日たてば救護所には全国から応援が来ていただけます。地元の医師は自分の医療機関に戻ってかかりつけ医の働きをしなければなりません。ただし、応援の医師には理解されない場合が多く、地元医師が自分たちの利益だけを考えると誤解されてしまいます。また、無料の救護所が地域の医療を妨げることも事実です。2、3 ヶ月たてば救護所は不要となるので、応援の医師にいかにもうまく引き上げてもらうのが難しいところです。

大きな避難所の1つ、あるいは2～3箇所の救護所を医師会が管理することの提案です。ここに県下の医師会が交代で出務していただきます。事情がわかっている医師が集まるので、時期が来れば地域での医療への移行がスムーズに行えます。そして他の救護所の見本となることができます。

－佐用医師会森会長から－

水害の経験をふまえて、このような支援の仕組みがあれば助かりますとの、発言がありました。

(2)公益法人化について（小澤県医副会長）

各医師会が、今後行わなければならない定款の変更について、資料を元に、具体的に細部にわたり説明されました。また、定款施行細則の変更のこと、総会運営委員会規則のことについても参考資料を作ってくださいました。各医師会での仕事を減らすことができます。また登記のためのタイムスケジュールについても説明されました。申請には県医師会が全面的にお手伝いをします。

(3)兵庫県医師会TV会議システム運営について（田中県医常任理事）

テレビ会議のシステムが完成間近です。時間、経費が節減されることもありますが、会員が会議に出席しやすくなって、医師会の活性化につながってまいります。ハイビジョン画面でクリアですし、音声も良好です。

まずは、県医師会館と姫路市医師会館の間が結ばれます。その後、全県下に広げていくつもりです。委員会だけでなく講習会、研修会にも活用していきます。来年4月から本格的に稼働する予定です。

報告事項

(1) 新型インフルエンザ対応検証報告書（足立県医常任理事）

新型インフルエンザについては決して過去の話ではなく、これからの話としてとらえております。対策会議において協議を重ね、報告書を作成しました。

(2) 日本医師会財務報告（空地県医常任理事）

従来、代議員会の途中に開催されていたのですが、前日に開かれるようになり、くわしい報告がなされました。厳しい財政状況が続いているようです。なお、県医師会の財政状況も同様に厳しいものがありますので、ご協力をお願いします。

質疑

全員参加の医師会とは、日弁連と同じように、懲罰についても伴うものでしょうか。

（神埼郡医師会西野会長）

私案の段階ですので真意はわかりません。日医の理事会でしっかり検討して参ります。

（川島県医会長）